

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-3	福祉と子育て環境の充実を図ります
基本計画(施策)	3-3-3	・障がい者福祉の充実

	課	係
主管課・係	健康福祉課	社会福祉係
	健康福祉課	子育て支援係
関係課・係	健康福祉課	健康増進係
	学校教育課	学校係

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①障がい者(児)及びその家族、支援者が障がいの有無に関わらず、生きがいを持って暮らせる地域社会の構築。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①障がいを持つ方の社会参加への機会や参加人数を増やす。 ②地域生活に求められるサービスの提供と受け皿となる障がい福祉サービス提供事業者の確保を図る。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 障がい者スポーツ交流事業参加者数</td> <td>人</td> <td>116</td> <td>120</td> <td>0</td> <td>120</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>B 作業所通所者数</td> <td>人</td> <td>54</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 障がい者スポーツ交流事業参加者数	人	116	120	0	120	135	B 作業所通所者数	人	54	50	50	50	45	C							D							<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ⑤ 大きく下回った</td> <td>新型コロナウイルス感染防止対策のため、交流事業を中止したため。</td> <td>⑤ その他</td> <td>令和2年度は実績がないため、令和2年度の目標値を令和3年度の目標値とした。</td> </tr> <tr> <td>B ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>相談支援等により通所への継続と作業所の創意工夫により、一定の利用者を維持することができたため。</td> <td>① 既に目標クリア</td> <td>平成30年度より50人前後の実績値で安定しており、この水準を維持し、利用者の社会参加への支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ⑤ 大きく下回った	新型コロナウイルス感染防止対策のため、交流事業を中止したため。	⑤ その他	令和2年度は実績がないため、令和2年度の目標値を令和3年度の目標値とした。	B ③ ほぼ目標値どおり	相談支援等により通所への継続と作業所の創意工夫により、一定の利用者を維持することができたため。	① 既に目標クリア	平成30年度より50人前後の実績値で安定しており、この水準を維持し、利用者の社会参加への支援を行う。	C				D			
			単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																																					
	実績値	目標値		実績値	目標値	目標値																																																							
A 障がい者スポーツ交流事業参加者数	人	116	120	0	120	135																																																							
B 作業所通所者数	人	54	50	50	50	45																																																							
C																																																													
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ⑤ 大きく下回った	新型コロナウイルス感染防止対策のため、交流事業を中止したため。	⑤ その他	令和2年度は実績がないため、令和2年度の目標値を令和3年度の目標値とした。																																																										
B ③ ほぼ目標値どおり	相談支援等により通所への継続と作業所の創意工夫により、一定の利用者を維持することができたため。	① 既に目標クリア	平成30年度より50人前後の実績値で安定しており、この水準を維持し、利用者の社会参加への支援を行う。																																																										
C																																																													
D																																																													
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはありますか？</p>	<p>障がいを持つ方の社会参加に向けた課題を社会福祉事業所等の関係機関と共有し、それぞれの障がい者に適した支援を行うことで、地域生活の維持と社会参加の促進に努めてきた。</p>																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有      <input type="checkbox"/> 無</p> <p>障がい者やその家族と関わりのある相談支援事業所をはじめ福祉サービス提供事業所から障がい者等の意見や要望を聴取し、福祉サービスの向上につなげている。</p>																																																												

**【施策の振り返り】**

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスを受けながら日常生活を送れる方が増えてきている。</li> <li>・相談支援事業所や関係機関との連携により、早期に支援の必要な方の把握が可能となった。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した福祉サービスの提供ができるようサービス提供事業所の確保が必要。</li> <li>・地域に埋没している支援の必要な方の発掘とアプローチ。</li> </ul>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>効果の低い事業については、縮小や廃止を検討していく。</p>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>障がい福祉サービスの提供ができる体制があり、一定の成果があると思われます。引き続き、障がい者の地域生活の維持と社会参加ができる取組を実施していく。</p>
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)				
			事業費(千円)				
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額	
01	障がい者地域生活支援事業	健康福祉課	目的	障がい者の地域生活において、自立した日常生活等が送れるよう支援を行う。			
			概要	日常生活用具給付事業、訪問入浴サービス事業、移動支援事業等を通して主に在宅障がい者の自立した日常生活、社会参加の促進を図る。			
			成果	障がいを持つ方のそれぞれに合った支援により地域での生活や社会参加の促進につながった。			
		社会福祉係	問題	障害福祉事業の増加にともない費用や事務量も増えてきている。			
			対策	①継続 事業の見直しを行い、効果の低い事業については、縮小や廃止する事業も検討していく。			
			事業費	12,415	13,533	16,021	16,000
			02	児童発達支援施設利用者支援事業	健康福祉課	目的	障がいや発達の遅れ、偏りなどを有する児童の早期療育を進める。
概要	町内在住の障がい児等に対し、町内の児童発達支援施設のサービス利用料(自己負担分)を免除することで、経済的理由によるサービスの拒否を防ぐ。						
成果	児童の早期療育の促進と町内の児童発達支援施設の安定的なサービス利用者の確保ができた。						
社会福祉係	問題	利用者の増加に伴い児童発達支援施設不足が懸念される。					
	対策	①継続 児童発達支援施設と意見交換を行い、問題の解決につなげていく。					
	事業費	842			408	716	800
	03					目的	
概要							
成果							
			問題				
			対策				
			事業費				
			04			目的	
概要							
成果							
	問題						
	対策						
	事業費						
	05					目的	
概要							
成果							
			問題				
			対策				
			事業費				
			06			目的	
概要							
成果							
	問題						
	対策						
	事業費						
	07					目的	
概要							
成果							
			問題				
			対策				
			事業費				
			08			目的	
概要							
成果							
	問題						
	対策						
	事業費						
	事業費の合計(千円)				13,257	13,941	16,737